

NEIAが開催した展示会の歴史（1988年～2001年、以降は開催無し）

	開催年		名称と開催テーマ	会場	出展企業・ 団体数	ブース数	来場者数 (人)	開催期間	目的
第1回	1988	昭和63年	'88 エレクトロニカ新潟 「豊かな生活を支え、明日を 拓くエレクトロニクス」	新潟市産業振興 センター (新潟市中央区)	126	222	31,847	11月4日（金） から3日間	①当工業会会員企業の実態を広く公開することで、今後の活動 への理解と協力を喚起する。 ②広く県内外の関連企業に技術力を公開することで、企業誘致 等にも寄与する。 ③エレクトロニクスと生活とのかかわりや未来ビジョンを公表 することで、県民への啓蒙活動を展開する。
第2回	1990	平成2年	'90 エレクトロニカ新潟 「エレクトロニクスで未来が 見える」	新潟市産業振興 センター (新潟市中央区)	123	268	36,754	10月26日（金） から3日間	単に技術交渉や商取引の促進にとどめず、技術水準を一般に公 開して、電子機械工業への関心を高める。
第3回	1992	平成4年	'92 エレクトロニカ新潟 「人、夢、明日を拓くテクノ ロジー」	ハイブ長岡 (長岡市寺島町)	101	225	34,526	10月23日（金） から3日間	前回と同じ。 (工業会のPRや一般向けの併催行事を多く取り入れた。)
第4回	1994	平成6年	'94 エレクトロニカ新潟 「新潟発、21世紀行きのテク ノロジー」	新潟市産業振興 センター (新潟市中央区)	80	155	22,099	10月20日（木） から3日間	前回と同じ。 (技術交流や商取引の促進という商業ベースへ少しづつ軸足を 移していく意図が企画段階からあった。)
第5回	1997	平成9年	信濃川テクノフェア&エレ クトロニカ新潟 '97	ハイブ長岡 (長岡市寺島町)	98	161	27,615	10月31日（金） から3日間	信濃川テクノポリス圏域をはじめとする県内外における機械お よび電子機器を中心とした開発新製品、工業製品を一堂に展示 し、その技術水準を紹介するための情報発信の場とする。これ により産業技術の振興、技術交流、新製品の開発、PR及び受 注の促進に寄与し、地域産業の振興を図る。
財団法人信濃川テクノポリス開発機構が主催する同様の催事と趣旨が類似し、また、出展企業も重複することから以降は合同開催とした。									
第6回	1999	平成11年	テクノフェア&エレクトロ ニカ新潟 '99	ハイブ長岡 (長岡市寺島町)	114ブース うち、電気・電子関連 47、機械関係30、測定 機器16		28,035	10月29日（金） から3日間	第5回と同じ。
第7回	2001	平成13年	テクノフェア&エレクトロ ニカ in にいがた 2001	ハイブ長岡 (長岡市寺島町)	112企業	129	16,193	10月26日（金） から3日間	第5回と同じ。